

新年号

酪農

とちぎ



- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 組合長挨拶
- 3 ページ 栃木県知事挨拶
- 4 ページ 青年部部長、女性会会長挨拶
- 5 ページ 東西南北（各支所）
- 6 ページ 部課だより（生乳販売課）
- 7～8 ページ 部課だより（業務部）
- 8 ページ 理事会だより、市場成績



迎 春  
謹んで  
新春のお慶びを  
申し上げます



# 新年の挨拶

代表理事組合長 坂主 正



新年明けましておめでとうござ  
います。

皆様におかれましては、穏やか  
な新春をお迎えしたとことと謹んで  
お慶び申し上げます。

さて昨年は、安倍自民党政権が  
2年目に入り、4月の消費税増税  
から始まり、次々にアベノミクス  
と言われる矢が放たれ、10年来の  
デフレの元凶が円の高止まりにあ  
るとの考えから、円安誘導策に拍  
車が掛かり年末にはとうとう対ド  
ル120円まで進みました。

資源の乏しい我が国が生き残る  
ためには自由貿易を推進すること  
がなにより重要なのは分かります  
が、急激な円安は多方面に弊害が

出ているのも事実です。特に海外  
の安い粗飼料・穀物に頼って伸び  
てきた都府県の酪農及び畜産業に  
おいては、今までに無い様な、な  
んとも痛い強力なボディーブロー  
になりました。またそこに、国が  
推し進めているTPPがすぐ前に  
立ちほだかり、その不安も増幅し  
たのか、我々の組合でも25戸（約  
5%）の酪農家がリタイアしてし  
まいました。

この窮状を打破するために、昨  
年7月に乳価3円以上の値上げを  
強く要請したところですが、なか  
なかな思うような答えが引き出せな  
いで、月日を重ねて来てしまいま  
したのが、現実の姿でした。

8月に入って菊池理事長が新た  
に関東生乳販連の会長になり関東  
の役職員が精力的に乳価交渉を推  
し進め、ようやく10月になって乳  
業と酪農は一体であるという考え  
方を共有することができました。  
酪農家がいなくなり、牛乳が無く  
なることが現実味を帯び、11月に

なるとスーパーの棚からバターが  
無くなるなどのテレビ・新聞等で連  
日報道されてから、乳業の方から  
値上げに依る姿勢が少しずつ見  
える様になってきました。しかし、  
乳業各社の中間決算状況を見ると  
決して良い結果ではなく、我々の  
要求している値上げの財源が乏し  
いのは見てとれていました。

最後には何としても消費者の理  
解を得、末端価格を財源として乳  
価を上げていかざるを得ないと言  
うことになった様です。しかし、  
消費者、大手流通業者の理解を得  
るのに4ヶ月程度かかるというこ  
とで、27年4月からの乳価値上げ  
で決着をしたところです。

その間、大変な冬の時期を過ご  
すわけですが先の明かりを明日の  
希望として皆様には頑張っ頂  
きたくお願い致します。

さて、組合の現状は「第3期中  
期構想」については、皆々様の弛  
まぬ努力によって、各部門の底上  
げを図ることができており、まず  
は及第点と自己評価するところで  
あります。

新たに、「第4期中期構想」を  
策定するに当り我々役職員が知恵  
を絞って、「酪農家の皆様に何が必  
要か」、「何をお返しできるか」を

考えていきます。

最も重要なものは2つ、1つは後  
継者対策であり、将来の酪農を引  
き継いでくれる若者に夢と希望を  
持つてもらおうよう図ります。

もう1つは、1戸あたり保有頭  
数も年々増加して、今後その流  
れは変わらないと思えますので、  
その時の過重労働と酪農機械の過  
剰投資を抑えることに全力を挙げ、  
飼養している牛達に自給飼料の一  
層の拡大と利用の定着化のための  
飼料イネ（WCS）等の活用を図  
り、最も有効だと思われるコント  
ラクター制度の推進を図って参り  
ます。

しかしながら、我々酪農家だけ  
の努力ではいかんともしがたく、  
目の前に立ちふさがっているTPP  
問題や円安誘導を国策としている  
政府に対しては、関係団体と連携  
し、国の畜産・酪農政策の一層の  
充実と所得の確保について強く要  
請して行きます。

結びに、今後も組合運営に対し  
て、ご協力をお願いすると共に、  
御家族様の益々の御健勝と御多幸  
を祈念申し上げ、今年が穏やかで  
素晴らしい1年でありますことを  
願いながら新年の挨拶と致します。



# 新年知事挨拶

栃木県知事 福田 富一



酪農とちぎ農業協同組合の組合員、役職員の皆様、あけましておめでとうございます。

知事3期目の任期が折り返しとなりました。私は、就任以来、対話と協調による県民中心、市町村重視の考え方のもと、県政を運営して参りました。今後とも初心を忘れず、チームとちぎのリーダーとして、現場主義を徹底し、県民の目線に立った県政を推進して参ります。

まもなく東日本大震災から4年となります。この間、私は、震災からの復旧・復興に最優先で取り

組んで参りました。皆様をはじめ、

市町、関係機関等の御尽力とふるさととちぎへの思いが、復興の大きな推進力となりましたことに、改めて深く感謝を申し上げます。

引き続き指定廃棄物の処理や風評被害の払拭など、残された課題の解決に全力で取り組んで参ります。

さて、今年は、復興から成長への確かな歩みを県内に広く行き渡らせ、皆様が成長の成果を実感できるよう、各種施策を積極的に展開していくほか、栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」の総仕上げを図って参ります。

我が国は、急速な少子高齢化と人口減少という、かつて経験したことのない大きな課題に直面しています。次代を担う若者達が、栃木県に定住するための就業機会の創出や、結婚や子育てなど安心して暮らせる社会づくり、また、女

性や高齢者の力が十分に発揮できる環境づくりなどに向けて、市町とともに知恵を出し合いながら、従来の枠にとられない柔軟な発想を持って、果敢に取り組んで参ります。

また、農業においては、国の農政改革に対応するため、農地中間管理機構を活用した農地の集積や、飼料用米の生産拡大を図るとともに、本県の地理的条件を活かした園芸の更なる振興や、農業の6次産業化、農産物の輸出拡大等を進め、最終年度を迎える「とちぎ農業成長プラン」の総仕上げに向けて積極的に取り組んで参ります。

特に、酪農については、自給飼料の生産利用拡大等による生産コストの低減や、6次産業化による畜産物の付加価値化、さらには家畜伝染病の発生防止対策等を推進し、国際化にも適切に対応できる足腰の強い酪農経営の確立を図って参ります。

皆様には、ふるさととちぎに愛着と誇りを持ち、国内外にとちぎの元氣と魅力を発信していただく

ようお願いするとともに、私も「元氣度 日本一 栃木県」の実現に全身全霊を傾けて参りますので、より一層の御理解と御支援をよろしくお願い致します。

年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、本年が酪農とちぎ農業協同組合の皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます、新年のごあいさつと致します。



## 新年の挨拶

青年部部长 小針 勤



新年明けましておめでとうござ  
います。皆様におかれましては、  
益々ご活躍の事とお慶び申し上げ  
ます。部員の皆様、組合役職員の  
皆様には青年部活動に対し、格段  
のご協力とご指導を賜り、誌面を  
拝借して厚くお礼を申しあげます。  
さて、昨年6月の青年部総会に  
おいて本部部長に選出され、新体  
制が発足致しました。多数の若い  
役員が選出されましたので、部員  
の皆様には本部事業へのご協力を  
よろしくお願い致します。  
昨年を振り返りますと、3月に  
本県で酪農発表大会の関東大会が  
開催されました。経営発表の部で  
は部員である那須塩原市、八木沢

直人さんが最優秀賞を獲得しまし  
た。宮城県で行われた全国大会で  
は最優秀賞をあと一歩及びません  
でしたが、僅差の発表内容でした。  
酪農発表大会は厳しい酪農情勢の  
中、全国で前向きに酪農に取り組  
み、活躍している方の発表なので  
大変勉強になりました。来年7月  
には関東地区の担当で前部長であ  
る小森崇宏委員長の下、東京で開  
催されます。皆様のご参加をよろ  
しくお願い致します。

青年部活動は、仲間作りや消費  
拡大活動だけでなく、将来の酪農  
経営者である青年部員の管理技術  
や経営能力を磨く場であればな  
りません。就農して、10年、15年  
の間に我が家の柱になれるように  
沢山の経験を積んで欲しいし、提  
供していきたいと考えています。

部員の皆様には、何かとご協力  
をお願いする事になるかと存じま  
すが、厳しい酪農情勢に負けない  
ように協力していきましょう。

最後になりましたが、本誌読者  
の皆様の方々のご発展とご多幸を  
ご祈念申し上げ、新年のご挨拶と  
致します。

## 新年の挨拶

女性会会長 越井 幸子



新年あけましておめでとうござ  
います。皆様におかれましては、  
健やかに新年をお迎えのこととお  
慶び申し上げます。また、組合役  
職員並びに組合員の皆様には女性  
会活動に対しまして、日頃より格  
別のご指導、ご協力を賜り厚くお  
礼申し上げます。

さて、今年度の女性会活動統一  
テーマとして「我が家を守るチェッ  
クシート」「広げよう牛乳の力  
牛乳の輪」の2つを掲げまして、  
組合員にポスターを配布させてい  
ただきました。現在、酪農家の減  
少や後継者不足、飼料の高騰といっ  
た課題を抱えての厳しい状況の中、  
より良い牛乳を生産するにあたり、  
チェックシートの記帳は大きな役

割を担っていると思います。また、  
各支部において、牛乳の消費拡大  
のために、各種イベント会場で牛  
乳の試飲を行うなど、牛乳の良さ  
を知ってもらおうPR活動も行って  
おります。乳製品を多く取ってい  
る人は知的能力が落ちにくく、認  
知症予防に良いとの情報もあり、  
牛乳を生産している者として誇れ  
るところであります。

また、支部単位の活動が主で、  
会員が一堂に会する機会がない中  
11月には、ホテルエピナル那須  
に於いて、会員多数の参加を得て  
全体研修会を開催致しました。演  
題は「聞く」「語る」心を通わす  
コミュニケーションと題し、講師  
に親業訓練インストラクターの大  
屋弘子先生をお招き致しました。  
言葉の使い方次第で相手も心を開  
いてくれ、円滑なコミュニケーション  
が図れることが分りました。是非  
非家庭での日常に取り入れていた  
だければ幸いです。

本年も女性会は、有意義な活動  
をして参りますので、ご協力を賜  
りますよう宜しくお願い致します。  
最後になりましたが、皆様の益々  
のご発展とご多幸をご祈念申し上  
げ新年のご挨拶と致します。



# 東西南北

## 那須高原支所

「牛舎環境調査を行って  
新人職員が感じたこと」

那須高原支所管内では、11月26日から12月10日の間で牛舎環境調査が行われました。

今回、牛舎を巡回・調査させて頂き、入組して間もない新人職員にとっては生乳生産の現場を知る機会にもなり、大変勉強になりました。ここで、今回の牛舎環境調査で特に良く清掃されていた事例をご紹介します。

- ① 牛床は乾燥し敷料が敷かれています。良く除糞され、快適性が確保されていて、牛体もきれいです。
- ② 常に新鮮な水を給水できるようになっています。
- ③ 生乳処理室・牛舎入口に消毒槽が設置され、新しい消毒薬が入っています。
- ④ 外部から人が来ることもあるので、防疫対策は大切なことです。パイプライン・タツプ部分ともに埃やクモの巣がなく、きれいに清掃されています。
- ⑤ 牛舎周り。きれいに整理されています。



⑥ バルクの外側も良く清掃されており、衛生的です。いつでも清掃できるよう濡れタオルが置かれています。ご紹介させて頂いた他にも、日頃から清掃されている方や、この機会に一生懸命清掃された方が多数見受けられました。築年数を重ねた牛舎でも、意識して清掃することで大変きれいになっており、調査員も気持ち引き締め、また嬉しく思いました。

生物と食品両方を取り扱う現場において、牛舎環境は特に気を付けなければいけないことだと思います。我々も生産性向上のため、牛舎環境の改善について支援してまいりますので、今後も日々の牛舎環境美化に努めていただきますようよろしくお願いたします。

## 宇都宮支所

塩谷地域酪農組合矢板支部・  
矢板市酪農組合合同視察研修会

12月8日、9日の1泊2日で、矢板支部と矢板市酪農組合合同の視察研修会を実施しました。この視察研修会は毎年実施しており、優れた飼養管理の牧場を視察研修する事を目的とし、今年も静岡県富士宮市の朝霧高原にある「丸山満幸牧場」を、支部長の小野田耕吉氏をはじめ総勢9名で視察研修

## 県南支所

全体交流会開催

致しました。今回視察した丸山牧場は、静岡県富士宮市の北部、富士山麓に広がる朝霧高原にあり、県内有数の酪農地帯で酪農を営んでおります。飼養総頭数200頭をフリーバーン牛舎で管理し、1万キロ以上の牛群で、牛群の特徴である高泌乳の達成には、餌や飼養管理の工夫と長年取り組んできた牛群改良への考え方について説明を受けました。この丸山牧場は第12回中部日本ホルスタイン共進会で名誉賞を受賞しており改良にも大変熱心に取り組まれていました。参加された方々もお互いの意見交換を行い大変参考になりました。

その後、研修場所を河口湖温泉に移し夜の懇親を深め、視察参加者達の親睦も深まり、有意義な視察研修会となりました。



12月4日、支所活動推進協議会（根本壽一会長）主催の全体交流会が県南支所において開催され、組合員や家族・従業員及び関係業者の方々等、約120名が親睦を深められました。当日は曇り空の寒い一日でしたが、参加者の準備協力も得ながら、無事開催する事が出来ました。

初めに坂主組合長から酪農情勢について報告を頂き、その後恒例の

バレーボールとビンゴゲームで大いに盛り上がり、会場内は暖かな笑い声に包まれて、参加者は明日への活力に繋がる、有意義な1日となった事と思います。



女性会河内南部・下都賀支部研修会開催

12月16日、女性会河内南部・下都賀支部（藤田洋子支部長）が13名参加のもと、群馬県富岡市へ研修に行きました。

粉雪がちらつく中、世界遺産に登録された富岡製糸場を見学しました。門から敷地内に入ると、大規模な繭の保管倉庫が東と西に分かれてあり、10月に国宝にも選ばれたとのことでした。操糸工場内においては、奥まで連なった操糸機械に圧倒されていました。富岡製糸場見学後は、こんにゃくパークを訪問しました。地元（株）ヨコオデイリーフーズによる施設で、無料で工場見学及び試食ができ、内外ともに、老若男女楽しめる施設になっていました。特に、こんにゃく、バイキングの種類が豊富で、往復して試食されていました。又、詰め放題にチャレンジされている方もおり、美味しく、楽しい時間を過ごされました。帰り際に、吹雪になってしまいました。元気で明るい会話がバス車内でも絶えず、日頃の作業の疲れを癒す有意義な研修旅行となりました。



# 部課だより

## 生乳販売課

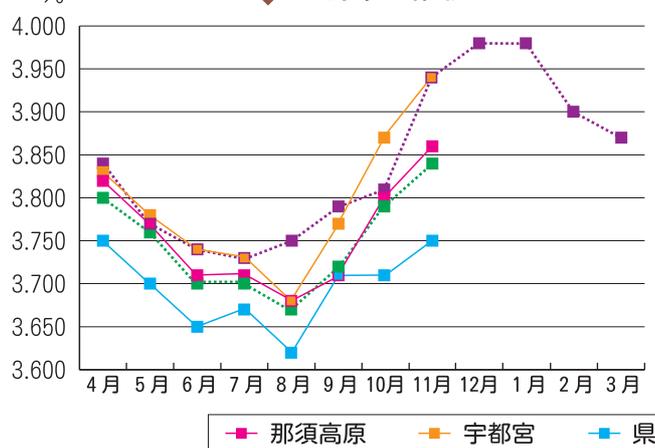
平成26年11月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し104.9%（1万8137t）と、37ヶ月連続し前年を上回る生産です。9月の受入乳量は、那須高原支所（前年比106.6%）、宇都宮支所（前年比108.6%）、那須支所（前年比98.9%）、県南支所（前年比98.9%）、合計で14万7925t（前年比103.5%）となり、那須高原支所の生産量が大きく前年を上回っています。直近の生産動向は、那須高原支所は9%増、宇都宮支所は2%増、那須支所は2%増、県南支所は1%減、前年を上回っています。出荷者数は、前年より19戸減りました。また、11月度及び年平均乳質は、脂肪率は単月及び年間下同様の状況、無脂固形分率については回復基調で現在は前年並みで推移し、細胞数は前年より向上しております。610件と前年より向上しております。を大きく下回りました。関東生乳販売連の11月総受託乳量は、生産量の減（25ヶ月連続）により、前年比98.8%と110.7t程減少し、累計でも97.3%、マイナスイタリ270tの状況です。11月の用途別の販売量は、生乳生産量が前年比98.8%に対し、生乳用向けが前年比98.6%と前年を下回りましたが、生クリーム向け

関東生乳販売連用途別販売数量

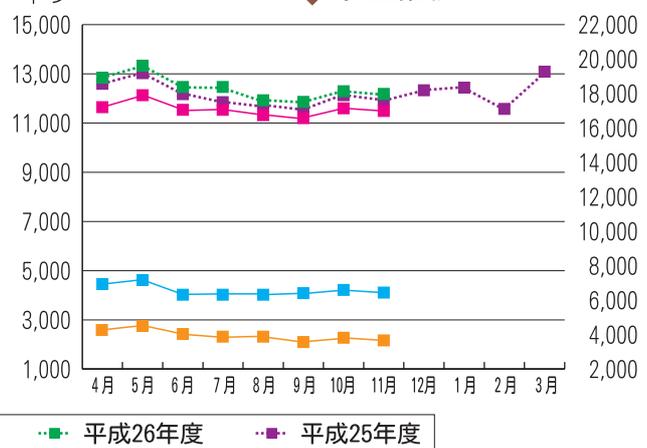
用途	11月実績	前年実績	前年比	累計実績	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	68,343,918	69,321,640	98.6	551,988,625	567,141,679	97.3
（うち学校向け）	11,364,902	12,648,946	89.8	80,779,847	83,450,361	96.8
はっ酵乳向け	12,773,656	12,850,504	99.4	106,685,779	109,649,896	97.3
特定乳製品向け(加工)	5,052,199	5,202,437	97.1	60,417,528	62,452,857	96.7
（うち委託加工向け）	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,829,212	1,718,061	106.5	14,442,424	14,522,928	99.4
チーズ向け	60,556	73,693	82.2	474,696	511,924	92.7
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	88,059,541	89,166,335	98.8	734,009,052	754,279,284	97.3
加工比率	5.74	5.83	-	8.23	8.28	-

が9たがりがが（加用産月%が  
は、尚続%。に前11・8工向量と増  
別関、いて、また、前前年ののの率けが前加  
表東平成いま、都府県は前年比1全の若干下は397をた  
の生乳販売連の用途別販売数量。26年11月の生産量は、状況は、北道す。年、飲生1174

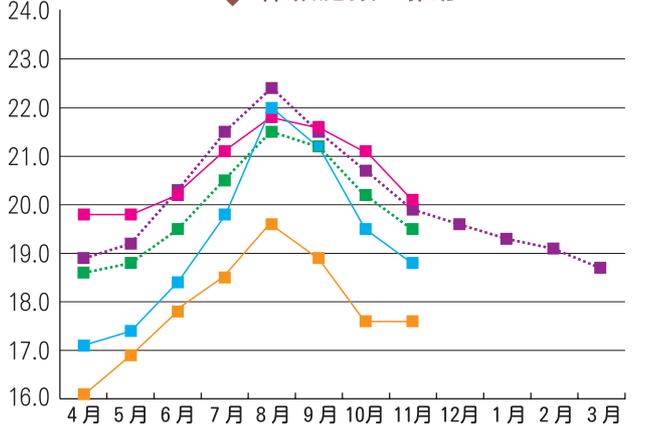
脂肪率の推移



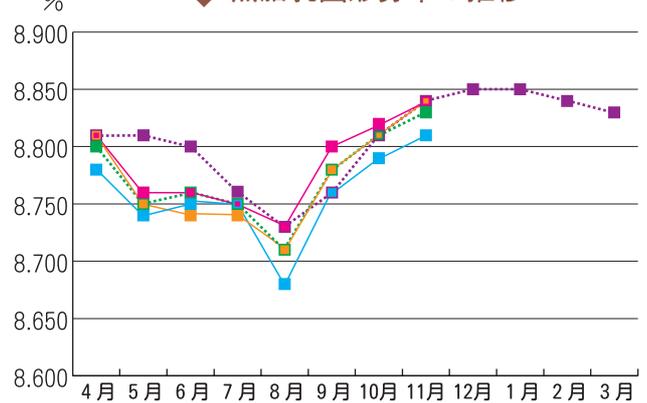
乳量推移



体細胞数の推移



無脂乳固形分率の推移



## 業務部

### 女性会全体研修会を開催



大屋弘子先生（左）の講演風景

11月14日、ホテルエピナル那須に於いて、酪農とちぎ女性会（越井幸子会長）会員124名の参加を得て、全体研修会を開催しました。

研修会は、「聞く」「語る」、心を通わすコミュニケーション大切な人にあなたの「愛」が伝わっていますかと題して、親業訓練インストラクター並びに厚生労働省認定で産業カウンセラーの大屋弘子先生を講師にお招きし、講演をいただきました。

大屋先生は長年の海外生活や6回の転居経験から、心豊かな暮らしをする為には、家族関係や周囲

の人間関係が如何に大切かを実感し、その体験を踏まえ、親と子の間に丈夫で温かい心の架け橋づくりを合言葉に、地域に親業の輪を広げる活動に取り組むと共に、教師学や看護ふれあい学、自己実現のための人間関係講座も行っております。親業訓練は、アメリカの臨床心理学者である、トマス・ゴードン博士が創設した親業プログラムで、親子にとどまらず、どんな人間関係にも有効であることから、すべての人々に役立つものとの事であります。今回の講演会は、参加した女性会員の方に、親子関係や夫婦関係の中で問題が発生した



和気あいの懇親会

事を想定し、相手の心を開く聞き方、心に届く話し方、対立した時の解決法などを寸劇で体験していただいた事で、より一層理解が深まったのではないのでしょうか。

いつの時代も、どんな世の中になっても「相手」と「自分自身」を大切にし、心豊かな生活を過ごせば幸せではないかと感じました。

講演会終了後は懇親会場に移動し、昼食を取りながら会員同士和気あいの会話を楽しみ、有意義な時間を過ごしました。

### 乳牛展示販売会を開催

11月28日、ふれあい牧場に於いて、本組合の乳牛展示販売会を9年ぶりに開催しました。

今回は、北海道初妊牛及び自家産初妊牛を対象に、合計37頭の展示販売会を行いました。北海道初妊牛については、全国酪農業協同組合連合会のご協力のもと、庭先により24頭の選畜購買を行いました。また、自家産初妊牛については、組合員の皆様的心を込めて育てた「愛牛」13頭が出品されました。腹はF17頭とホルスタイン6頭となり、特にホルスタインにつ



乳牛展示販売会風景

いては全て雌雄判別精液が使用され、後継牛の安定確保に繋がることと期待しています。

当日は、午後1時30分から展示販売会を開始し、来場者は本牛の確認や出品牛名簿による成績等を考慮し選畜されました。

購買成立については、事前に購買希望された方を優先に投票（競合の場合は抽選）にて決定し、最終的には来場された組合員全員も含め、選畜のうえ37頭全頭が購買成立しました。

「展示販売」は自分の目で見て選べる利点があり、購入者それぞれの視点や想いを基に、購入ができたことと推察致します。





**第17回関東地区ホルスタイン共進会** 茨城県で開催！  
 2年に1度開催されている第17回関東地区ホルスタイン共進会が、去る11月12日(水)から13日(木)の2日間、茨城県中央家畜市場(小美玉市)において開催されました。  
 この共進会の主催は関東ホルスタイン改良協会(関東の1都6県で組織されている団体)で、今回の運営主体は当番県の茨城県酪連が対応されました。  
 審査員は榊十勝家畜人工授精所取締役営業指導部長 山口寿典氏を迎えて1都6県より選抜された未経産牛45頭、経産牛47頭、合計92頭(本県出品牛は未

**第17回関東地区ホルスタイン共進会 入賞牛一覧**

区分	部名	名号	出品者		所属組合	入賞結果
			住所	氏名		
未経産牛	第1部	プラントツリー ジレスビー リヴエレスト	日光市小林	植木 悦子	酪農とちぎ	2等3席
		タクヨウ ワーデン ユカタロス	那須塩原市下永田	栃木県立那須拓陽高等学校	栃 酪	優等3席
	第2部	イトリフイツク ファイナルカット メリー アンナ	那須町高久甲	伊藤 高行	酪農とちぎ	1等2席
	第3部	タクヨウ キャリー レッドマン クリスタル	那須塩原市下永田	栃木県立那須拓陽高等学校	栃 酪	名 誉 賞 優等1席
経産牛	第3部	KYN サンチエス ミミ ムーンリバー ET	鹿沼市みなみ町	栃木県立鹿沼南高等学校	栃 酪	2等2席
		リージェント ブラクストン サンドラ ET	那須塩原市関谷	和田 泰	酪農とちぎ	2等1席
	第4部	ハーネスファーム デイストライ ローヤル	那須塩原市薮沼	高塩 浩典	酪農とちぎ	優等3席
		ロイマーチン ラバングード プロンディー	那須塩原市箕輪	室井 忠則	酪農とちぎ	1等4席
	第5部	グリーンエバー ゴールデン レーヴ	那須塩原市青木	人見 泰弘	酪農とちぎ	2等4席
		コバリ サンチエス エクストリーム	那須塩原市青木	小針 勤	酪農とちぎ	2等1席
	第6部	ハーネスファーム ダンディ スター ルル	那須塩原市薮沼	高塩 浩典	酪農とちぎ	1等2席
		ウイング チャンピー ロング	芳賀郡茂木町大字結田	羽石 智昭	酪農とちぎ	優等2席
第7部	リージェント アストロ ティーオフ ガール	那須塩原市関谷	和田 泰	酪農とちぎ	1等3席	
	BDIファーム ウイス J ミズキ	芳賀郡芳賀町大字西水沼	大島 秀樹	酪農とちぎ	優等3席	
第8部	イトリフイツク コトミ アドベント キサラギ	那須町高久甲	伊藤 高行	酪農とちぎ	1等2席	
	パインツリー クリスマス サード ロイ ET	宇都宮市古賀志	P-T H R E E	酪農とちぎ	2等3席	

経産8頭、経産8頭)で改良成果を競われました。  
 厳正なる審査の結果、本県から未経産のクラスで栃木県立那須拓陽高等学校出品牛の月齢18ヶ月以上21ヶ月未満のタクヨウ キャリー レッドマン クリスタル号(父牛・レッドマン)が見事に名誉賞を受賞されました。  
 各クラスの入賞結果は次の通り。

**理事会だより**

**11月度理事会(11月28日)**

**報告事項**

- (一) 平成26年度上半期定期監査報告について
  - (二) 業務経過報告について
  - (三) 組合資金貸付について
  - (四) 組合プール乳価について
  - (五) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
  - (六) 関東生乳販連情報について
- 協議事項**
- (一) 10月度事業実績について
  - (二) 旧那須高原支所の土地売却予定価格の設定について
  - (三) 平成27年乳代送金日の設定及び対応について
  - (四) 年末手当の支給について



**11月度 ホクレン初妊牛市場成績** (単位：千円(税込))

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	(そのうちET牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	11月6日	628	455	72.5%	537	67	49	670
南北海道	11月7日	111	91	82.0%	457	4	4	726
釧路	11月12日	323	192	59.4%	517	8	5	661
根室	11月13日	548	373	68.1%	531	42	28	620
豊富	11月14日	432	296	68.5%	513	4	2	539
十勝	11月26日	751	542	72.2%	555	110	86	695
根室	11月27日	374	306	81.8%	539	30	14	653
北見	11月28日	458	368	80.3%	523	3	3	630
合計		3,625	2,623	72.4%	531	268	191	672
前月		2,962	2,133	72.0%	536	232	164	679
前年同月		3,690	2,574	69.8%	500	241	158	612

**11月度 県内家畜市場成績** (単位：円(税込))

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
	F 1 雄	128	127	58	236,520	82,080	171,439	▲ 3,502
	F 1 雌	115	114	56	167,400	10,800	117,085	10,730
館林(11/27)	ホルス雄	3	3	84	36,720	27,000	31,320	▲ 540
	F 1 雄	17	17	96	257,040	168,480	222,544	4,198
	F 1 雌	20	20	97	205,200	128,520	175,014	17,652

初妊牛の今後の動向は、3月~4月分娩が中心となります。例年であれば春分娩が中心のため、価格も上昇傾向になります。また、道内外とも生乳生産量確保のため引き合いが強まることも予想されます。導入を希望される方は、分娩腹の条件、価格等に十分余裕を持ってお申込み下さいますよう、よろしくお願い致します。

初生牛の取引価格は高値相場から落ち着いた傾向で推移しています。素牛相場や枝肉相場等の動向で価格も影響しますが、今回はF 1 雌が前回に比べ若干高値で取引されています。